

第1学年 道徳授業指導案

1 学 級 第1学年A組（30名）B組（32名）C組（32名）D組（31名）

2 主 題 4－（1）遵法の精神、権利・義務、規律・秩序

3 授業者

A組 教諭 豊嶋一志

B組 教諭 藤本佑子

C組 教諭 鈴木貴子

D組 教諭 羽鳥一

4 資料名 「ルールを守る心」 光村図書出版

5 本時の授業

（1）目標 規則や決まりの意義を理解し、これを守ろうとする意欲を高め、社会の秩序と規律の向上に努めようとする心情をはぐくむ。

（2）展開

	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入 5 分	1 法やきまりがなかったらどうなるか考え、発表し合う。 2 「駐輪禁止区域」の写真を見て、今日の主題が身近な問題であることを感じる。	発問① 法やきまりがなかったらどうなるか？ ●「社会が成り立たなくなる。」 「一人一人が安全に生活できなくなる。」 発問② 写真を見せて、このような看板や状況を見かけたことがあるか？ ●近所でみかけたことがある。	・今までを振り返り、具体的に挙げさせる。 ・だれでも経験することであることに気づかせる。 ・「駐輪禁止区域」の写真を書画カメラで写し、今日の主題が身近な問題であることを提示する。
展 開 3 5 分	3 『ルールを守る心』の教員の範読を聞く。 4 ワークシート問1に記入し、ペアで話し合う。何人かが意見を発表する	発問③ 筆者が駅周辺の駐輪について調べていくうちにわかったのは、どんなことでしょうか？ ●「休日にはたくさんの自転車があるが、平日には一台もない。」 「平日にルール違反がないのは、監視するおじさんがいるから。」	・監視員がいないから自転車を置くことの方が悪いと筆者が思った理由を考えさせる。 ・ルールを守らなければと思いながらつい違反し

	5 ワークシート問2に記入し、ペアで話し合う。 何人かが意見を発表する 6 ワークシート問3に記入し、班で話し合い、発表する。 ①個人で考えを記入。 ②班で意見交換。 ③各班からの代表者が発表。(2～3班) 7. ワークシート問4に記入し、全体で何人かが自分の考えを発表。 ①個人で考えを記入。 ②班で意見交換。 ③各班からの代表者が発表。(全班) ④クラス全体で意見交換。	発問④筆者は、平日と休日の両方の写真を見て、どうして「なんともいえない気分」になったのでしょうか？ ●「ただ自転車を置くより、監視員がいないから自転車を置くことのほうが悪いと思ったから」 ・「ルールを守らなければしかられるから守り、しからなければ守らないという心を感じるから。」 発問⑤母の「自分自身がいつも自分を見ている」という言葉について、あなたはどのように思いますか。 ●「自分の行動は、自分で判断して、自分に恥ずかしくないようにしなければならぬ。」 「自分のことだけではなく、社会全体のことを考えて行動することが大切だ」 発問⑥正しいことがわかっているのに、できないのはどうしてでしょうか。 ●「自分がしっかりしていないため、楽な方に流れ、ついルール違反してしまう。」 「自分だけなら、今回だけなら、大丈夫と思って自分に都合良く考えてしまう。」	てしまう人間の弱さを共感的に考えさせる。 ・まとめて発表させない。 「ふたりの意見をそれぞれ発表してください。」 ・<u>ルールを守ることは自立的なものであることを実感させ、自分を省みて、ルールを守ることの大切さに気づかせる。</u> ・班でまとめない。 「班で出た意見はみんな発表してください。」
終 末 1 0 分	3. 自分の考えをワークシートにまとめる	3-①今日の授業で感じたことや思ったことをワークシートにまとめましょう。	・自分の生活の中でルールを守り、社会の秩序と規律の向上に努めようとする態度を養わせる。

8 評価

- ・法や決まりの意義とともに、それを守るのは自律的な心によるものであることを理解することができたか。
- ・自分の社会の中で法や決まりを守り、社会の秩序と規律の向上に努めようとする態度を養うことができたか。

1 筆者が駅周辺の駐輪について、調べていくうちにわかったのはどんなことでしょうか。

2 筆者は平日と休日の両方の写真を見て、どうして「なんともいえない気分」になったのでしょうか。

3 母の「自分自身がいつも自分を見ている」という言葉について、あなたはどのように思いますか。

4 正しいことはわかっているのに、できないのはどうしてでしょうか。

5 今日の授業で感じたことや思ったことをまとめてみましょう。

道徳授業学習指導案

1 日時 平成24年9月12日(水) 第5校時

2 主題

自分の個性を伸ばす 1-(5)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

個性とは、一人一人の人間がもっている、取り換えることのできない独自性である。自己の欠点や短所を反省することも大切であるが、自分の優れている面の発見に努め、それをさらに伸ばしていくことが重要である。

(2) 生徒について

中学2年生では、学校生活の中心となって活動する学年である。学校行事や委員会活動、部活動など、さまざまな場で自分の個性を出して活動する。しかしながら、他人との比較を気にする時期もあり、個性を出さずに周りに合わせるような行動もしやすい。努力して自分の個性を見つけ、その個性を真剣に見つめて向上させていこうとする態度を育てていきたい。

(3) 資料について

雅楽師、東儀秀樹氏のエッセーである。小学生時代、絵をかくのが好きだった筆者は、ヒップリースタイルの絵の先生と出会い、個性を伸ばしていくことの大切さを教わる。高校時代には、ロックバンドをやり作曲をし、雅楽の世界に入ってから独自の音楽スタイルを追求している筆者は、「自分の個性に自信をもつことが大切」というメッセージとともに、「个性的」であることと「非常識」であることの違いに言及している。自分らしくあるとはどういうことなのかをじっくりと考えさせたい。

4 生徒の様子

この時期は周りの目を気にして、意見があっても周りに合わせてしまい、委員会活動でも個性を出さずに活動している生徒もいる。

また自分のよい個性は見つけられていない生徒も多いが、仲間のよい個性を発見したり認めることができる。

個性をいろんな角度で見つめ、友達からよい個性を聞くことによって自分の個性を見つけ出し、個性を発揮しようとする心情を高めていきたい。

5 使用資料

副読本「きみがいちばんひかるとき 21 自分の個性に自信をもつ」 光村図書

6 本時の指導の流れ

【ねらい】 自己の個性に自信をもち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。1－(5)			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応など	留意点
導 入	1 筆者についての話を聞く。	①この人を知っていますか。 ・テレビで見たことがある。 ・現代的な音楽でも活躍している。	●筆者についての説明をする。 ●雅楽の曲や筆者が演奏するCDを聴き比べさせ興味をもたせる。 ●筆者は世田谷出身であること、ロックやジャズと融合した音楽の分野でも活躍していることに触れる。
展 開	2 「自分の個性に自信をもつ」を読んで、個性について話し合い、自分の考えを深める。 3 個性を見つけ、表現していくにはどのようにしたらよいか発表し合う。	①筆者は、どんな気持ちから雅楽の道に進もうと考えたのでしょうか。 ・音楽が好きだったから。 ・母の言葉に背中を押されて。 ・東儀家を継承しようという気持ちもどこかにあったのでは。 ・まずその世界へ入って、それから決めようと思った。 ②筆者はどのようなことが「個性的」であると考えているのでしょうか。 ・自分の好みを優先すること。 ・自分にしかできないこと。 ・人間は、この世界にたった一人しかいない存在だと自覚して行動すること。 ③自分らしいよさを表現するには、どのようにすればよいのでしょうか。 ・人との違いをあまり気にしない。 ・人間としての基本的なことを守ったうえで、自分を素直に表現する。 ④個性とはどのようなものか考えてみよう。(個性のない世界とはどんな世界?) ・色のなさそうな世界 ・昆虫のような進歩のない世界	●教師が範読する。 ●「まずはその世界へ入ってみて」という筆者の言葉だけではなく、いろいろな気持ちを出させたい。 ●ワークシートを配り書かせてから発表し合う。 ●筆者の文章から、類推させる。 ●「個性的」と「自己中心的」「非常識」との違いに気づかせる。 ●様々な視点で個性をとらえさせる。
終 末	4 友達の話聞いてこれから伸ばしたいと思う自分の個性や長所について考える。	①友達から聞いたあなたのよい個性を5～6つあげてみましょう。 ・前向き ・マイペース ・大らか… ②自分の個性をどのようなところで伸ばしていきたいと思いますか。考えをまとめて書いてみましょう。	●授業を振り返らせ、自分が伸ばしたい良い点を考えさせる。

7 評価：筆者の「個性」に対する考え方を通して、自分の個性を見つめていこうとする心情をもてたか。

21 自分の個性に自信をもつ

2年 組 番氏名

1.

2.

3.

「個性を探そう！！」

組 番

4. 個性ってどんなものだろう？

①言いかえると

②個性って？
よいもの・悪いもの

③あなたは個性がある？
はい・いいえ

⑤個性のない世界とはどんな世界？

④あなたが考える個性とは？

⑥個性がある世界とはどんな世界？

⑦自分の好きな個性・嫌いな個性は？

5. 友達から聞いたあなたのよい個性を5～6つあげてみよう

6. 自分の個性をどのような場面で伸ばしていきたいと思いますか？

道徳授業学習指導案

1 日時 平成24年9月12日(水) 第5校時

2 主題 かけがえのない命 3-(1)

*関連項目 4-(6) 家族愛、充実した家庭生活

3 主題設定の理由

心身の成長が著しいこの時期に、人間として自他の生命をかけがえのないものとして大切に
する心をはぐくんでいくことは、とても重要なことであり、豊かな人間性の形成に不可欠であ
る。今年6月に、6歳未満で初めての臓器提供が行われた。ドナーカードを理解することで自
分だったらどうするか、また、その時の家族の思いを想像することで、改めて命の大切さにつ
いて考えさせ、自他の生命を尊重する心情をはぐくむ。

4 生徒の様子

比較的健康に毎日を過ごしている生徒が多いことや、受験期をむかえて学習への意識が高ま
っていることなどから、生命の有限性を感じる機会が少なくなっている。

あらためて生命の大切さを自覚し、自他の生命を尊重する心情をはぐくむことで、残り半年
の中学校生活や卒業後の生活も充実させたい。

5 使用資料

*副読本 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき「娘が贈った七つの宝石」

NHK道徳ドキュメント 「いのちの判断」

保護者アンケート等

6 本時

(1) ねらい

①生命は決して軽々しく扱われるべきではないことについて深く自覚し、自他の「生
命」の大切さについて考えを深める。

②自分の家族の気持ちを考えることで、生命をより大切にしようという心情を育む

(2) 本時の展開

	学習活動	発問と予想される生徒の反応 など	留意点
導 入	ドナーカードにつ いての説明を聞き、考え る。	「ドナーカードというものを知っていますか。 知っていることを挙げてみましょう。」 ・生前に臓器提供の意志表示をするカード	ドナーカードと 臓器移植につい て説明する。 実物のドナーカ ードを見せる。

展開	「娘が贈った七つの宝石」を読む。 発問に答える。 ビデオ「いのちの判断（15分）」を見て、親の心情の変化について考える。 発問に答える。 自他のかけがえのない命について考える。	「理恵さんは、どのような考えからドナーカードにサインしたのでしょうか。」 ・人は必ず死ぬから、その時にせめて人の役に立ちたいと思った。 ・介護の仕事を希望して、常日頃から、人の役に立ちたいと思った。 「Tさんはどんな思いで「人々に『生』をもたらした娘の七つの宝石」と言ったのでしょうか。」 ・理恵は7人の中で生き続けているばかりか、多くの人々の中で宝石のようにずっと輝き続けている。 「親はどんな気持ちで臓器移植に同意したのだろうか。」 「13年たった今も、よかったかどうか迷っていたのはどうしてでしょう。」 「自分の家族がドナーカードを持っていたら、家族の意志を尊重しますか。」 発表させる。	最初に理恵さんの思いを押さえてから、Tさんの心情を追うようにする。 息子の意志の尊重と、臓器提供について悩む親の心の葛藤について気付かせる。
終末	保護者のアンケート等を読んで家族の気持ちも想像する。 本時を振り返る。	今日の学習を振り返って、「命」について感じたことをワークシートに記入する。	授業の感想などを話し、余韻を持って終わるようにする。

7 評価

- ・生命は決して軽々しく扱われるべきではないことについて深く自覚し、自他の「生命」の大切さについて考えを深めることができたか。
- ・自分の家族の気持ちを考えることで、生命をより大切にしようという心情を育むことができたか。

3年 道徳 『娘が贈った七つの宝石』ワークシート

組 名前

- 1 理恵さんはどのような考えでドナーカードにサインしたのでしょうか。

--

- 2 親はどんな気持ちで臓器移植に同意したのでしょうか。

--

- 3 もし、自分の家族がドナーカードを持っていたら、家族の意志を尊重したいと思いますか。理由も書いてください。

- 4 今日の学習を振り返って、「命」について感じたことについて書いてみましょう。

[illegible]